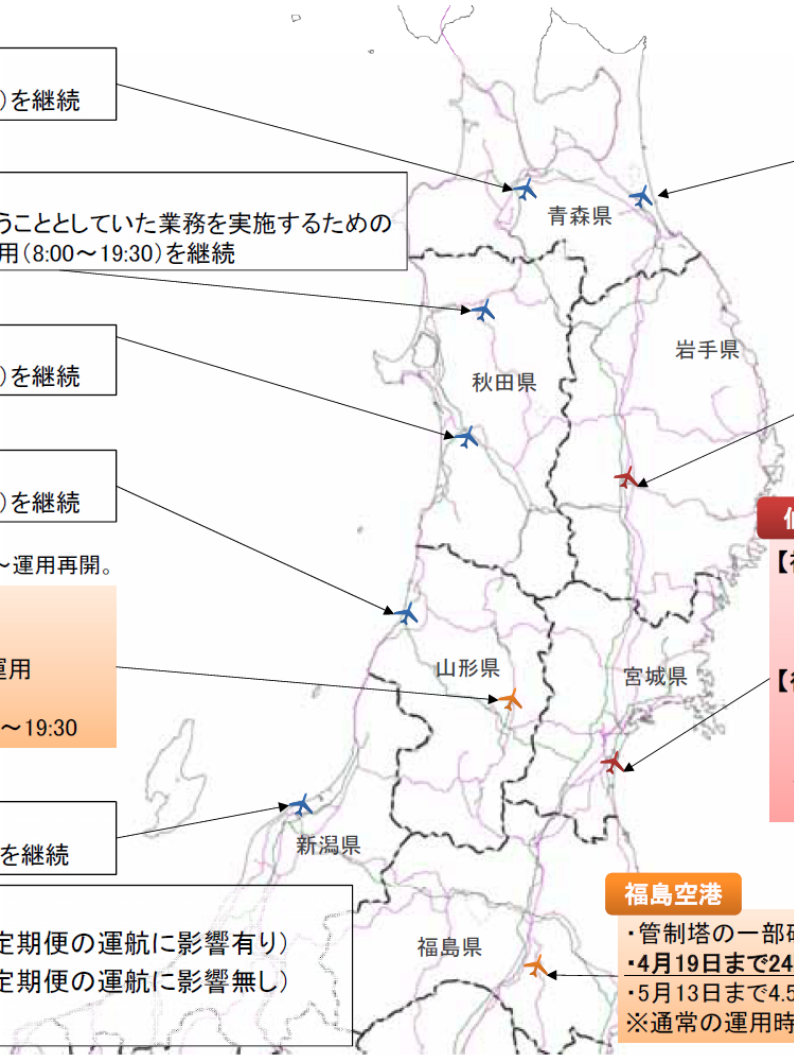
空港における被害と復旧・運行状況



青森空港
- 被害無し
- 通常の運用（7:30～21:30）を継続

大館能代空港
- 被害無し
- 集約により仙台空港で行うこととしていた業務を実施するための要員を派遣し、通常の運用（8:00～19:30）を継続

秋田空港
- 被害無し
- 通常の運用（7:00～21:30）を継続

庄内空港
- 被害無し
- 通常の運用（7:00～22:00）を継続

山形空港　※12日7:59～運用再開。
- 航空局庁舎等一部破損
- **4月7日まで24時間運用**
- 4月28日まで4時間延長運用（6:30～22:00）

※通常の運用時間：8:00～19:30

新潟空港
- 被害無し
- 通常の運用（7:30～20:30）を継続

（凡例）
- 被害有り（定期便の運航に影響有り）
- 被害有り（定期便の運航に影響無し）
- 被害無し

三沢空港（三沢飛行場）
- 被害無し
- 通常の運用（8:30～20:00）を継続

花巻空港

【被災状況】
- ターミナルビル一部損傷　（3月17日再開）
- 航空灯火の一部破損

【復旧状況】
- **3月31日まで24時間運用**
- 4月20日まで3時間延長運用（7:00～21:30）
- 5月31日まで1時間延長運用（8:00～20:30）

※通常の運用時間：8:00～19:30

仙台空港

【被災状況】
- 津波により空港敷地全体が水没し、滑走路、航空保安施設が使用不能
- 滑走路等に車両約200台漂着、土砂・瓦礫が広範囲に堆積
- 航空局庁舎、航空保安大学校等浸水

【復旧状況】
- 3月16日　米軍・自衛隊の支援を受け1,500m滑走路暫定使用開始
- 3月29日　3,000m滑走路使用可
- **4月13日　民航機就航再開（29日には夜間就航再開）**

※通常の運用時間：7:30～21:30

茨城空港（百里飛行場）
- ターミナルビル天井落下（3月14日再開）
- 航空局庁舎一部破損
- 通常の運用（9:30～21:00）を継続

福島空港
- 管制塔の一部破損
- **4月19日まで24時間運用**
- 5月13日まで4.5時間延長運用（6:00～22:00）

※通常の運用時間：8:30～20:00

出典：国土交通省航空局「東日本大震災における空港を利用した活動状況と課題」

空港における被害と復旧・運用状況

○被害を受けた空港の状況と復旧までの経過

	基本施設・庁舎等の被害	運用状況	旅客ターミナルビルの被害	旅客ターミナルビルの復旧	その他
仙台空港	・空港の冠水（15:56～） ・庁舎1階部分等に浸水	3月11日　15:06～空港閉鎖 3月16日一部運用再開（救援機のみ） **4月13日～民航機（臨時便）運航再開**	・旅客ターミナルビル浸水	4月13日　暫定供用開始 9月25日　完全復旧	・旅客等滞留1,422人 ・けが人なし
花巻空港		3月11日　16:05～運用再開 3月16日午後　臨時便の運航開始 **3月17日～ 民航機（定期便）運航再開**	・床のクラック ・排煙口、空調吹出口、照明器具の落下 ・変圧器の故障	3月11日　14:46～　閉鎖 3月16日　午後　安全確認完了 3月16日　午後　供用開始	・旅客等滞留なし ・けが人なし
山形空港	・航空局庁舎に一部破損（VFR室天井の吊りボルトに外れ、歪み）	3月11日　空港閉鎖 3月12日　7:59～運用再開 **（同日より、定期便・臨時便運航）**	・商用電源停止	3月11日　空港閉鎖 3月11日　15:35　安全確認完了 3月12日　供用開始	・旅客等滞留あり ・けが人なし
福島空港	・管制塔窓ガラス破損（機器には異常なし）	ガンセットにより運用（2階運用室にて） **3月11日～民航機（定期便）運航継続** 4月27日～管制塔での業務再開	・被害なし	3月11日　発災後もそのまま供用	・旅客等滞留50人程度 ・けが人なし
茨城空港		**3月14日～民航機運航再開**	・旅客ターミナルビル中央部分の天井落下、柱のクラック	3月13日　安全確認完了 3月14日　供用開始	・旅客等滞留なし ・けが人なし

※各県へのヒアリングを基に作成。

出典：国土交通省航空局「東日本大震災における空港を利用した活動状況と課題」

空港における被害と復旧・運行状況

	燃料給油施設	貨物上屋	格納庫	アクセス
花巻空港	• 給油車両搭載のための電動ポンプが停電の為停止。→燃料タンクとの水頭差を利用して給油車両に燃料を搭載。※停電は13日まで	被害なし	被害なし	被害なし
山形空港	被害なし。	被害なし	被害なし	被害なし
仙台空港	• レフューラー車が水没（17台）。 ※石油元売会社が自社で配備している車両を他の空港から融通し仙台に配備。 • 地震発生後、元バルブを閉めたため、燃料の流出は無し。 • タンクの被害なく、ポンプ及び配管に損傷。	• 仙台エアカーゴターミナル（SACT）が津波により冠水被害。 • 漂流中の車両が発火し、SACTに延焼、焼失。	• 津波により海上保安庁、航空大学校、民間事業者が保有する格納庫が津波により冠水。	• 津波により県道20号が冠水。（3/15に開通） • 仙台アクセス鉄道空港駅1階及び空港トンネルが冠水。（10/1より全線で再開）
福島空港	被害なし	被害なし	被害なし	被害なし
茨城空港	被害なし	被害なし	被害なし	被害なし
成田空港	• 空港内及び千葉港埠頭の給油タンク付属機器が故障。	• 貨物上屋の一部に被害。（設備配管等の落下、壁の脱落・シャッター破損、漏水等）	被害なし	・鉄道、バス全面運休（3/11）
羽田空港	被害なし。	被害なし	被害なし	・鉄道、モノレール、バス全面運休（3/11）

※各県へのヒアリング、日本空港ビルデング株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社及び成田国際空港株式会社の資料等を基に作成。

出典：国土交通省航空局「東日本大震災における空港を利用した活動状況と課題」

前3頁の図の詳細情報

前3頁の図の標題		空港における被害と復旧・運行状況
同図のポイント		・仙台空港は、津波により空港の大部分が冠水した。漂流物や施設、機器の損傷により空港機能を失った。 ・花巻空港、茨城空港では旅客ターミナルビルが一部損傷した。福島空港では管制塔のガラスが破損した。
出典の詳細	資料名	国土交通省航空局「東日本大震災における空港を利用した活動状況と課題」＜2014年11月＞
	標題	空港における被害と復旧・運行状況
	URL	http://www.mlit.go.jp/common/001062705.pdf
キーワード		空港被害、復旧、運航状況
データ番号		04-195-0401 （問い合わせ等の場合、この番号をご明示ください）